



大内中だより

さつきの丘

Webページはこちら→

令和7年3月13日
第47号



学校給食への感謝を形に

先週3年生が卒業し、校内に響く生徒の声も少なくなり寂しさを感じています。さて、3月11日（火）の給食前に、北部給食センターの栄養士の方が来校しました。時折、給食時の生徒の様子を見に来ていただいているのですが、この日は、日頃からお世話になっているセンターの皆さんへの「感謝」として、卒業した3年生による寄せ書きを、2年給食委員から栄養士さんに贈りました。栄養士さんからは、「給食で食べたいメニューがあればリクエストしてほしい。できる範囲で叶えていきたい。」とお話をいただきました。

学校給食は、各家庭から集めたお金を基本に運営されています。また、1食あたりの栄養価もきちんと計算した上で、献立が作成されています。当たり前のこととはいえ、目に見えない苦勞も少なからずあるはずで、そんな中でも「子どもたちにとって楽しい給食であってほしい」という思いをお話から感じました。あらためて給食を作ってくださいる方々に心を寄せるよい機会となりました。

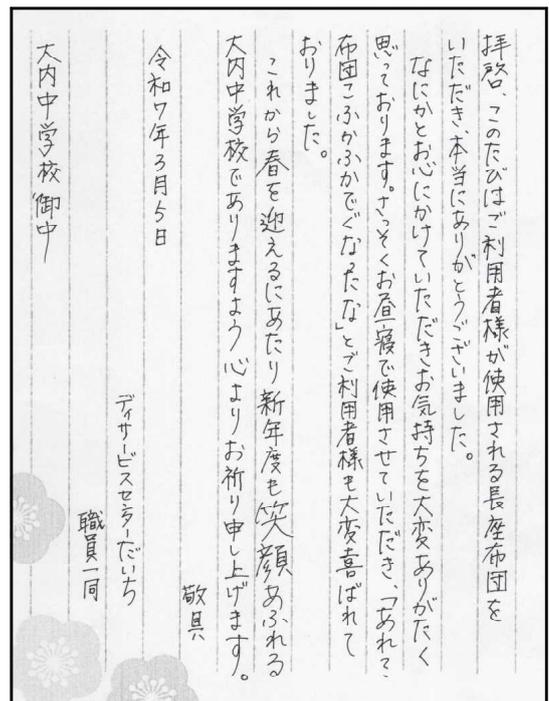


福祉施設、小学校に希望物品を寄贈しました

本紙20号をお伝えしたアルミ缶回収の収益金を活用して、大内地区の3つの福祉施設と、2小学校に、希望する物品を寄贈することができました。物品の概要は次のとおりです。

- ・高台苑 電気ポット(4L) 1台
- ・さつき苑 マグカップ 20個
- ・デイサービスセンター だいち 長座布団 7枚
- ・岩谷小学校 ボードゲーム、フリスビー等
- ・大内小学校 CDラジオ、カラーボックス

あらためて、地域並びに保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。



「だいち」からお礼状が届きました！